

1. 授業計画

母性看護学

分野	専門分野 母性看護学	科目名	命をつなぐ
単位・時間	1 単位・15 時間（授業 14 時間）	対象学年	1 年生
方法	講義	時期	後期
講師名 （担当授業時間数）	専任教員 秋元 未来（14 時間）		
講師の実務経験	助産師として他病院に 8 年 5 ヶ月、星総合病院に 5 年 5 ヶ月		
学習目標	女性の性や健康について生物学的、心理学及び社会的な観点から総合的に理解する。リプロダクティブヘルス/ライツの概念を理解する。その上で女性の一生を通じた健康の保持・増進と次世代の子どもを健やかに育成するための母性機能の健全な発達を促すために、母性看護が果たす役割と課題について学ぶ。		
成績評価方法	筆記試験		
使用テキスト*購入	医学書院：母性看護学（1）母性看護学概論		
参考文献*非購入	メディカ出版：ナーシンググラフィカ 14		
履修上の留意	提出物は提出期限を厳守すること。		
講師からの メッセージ	女性の一生を通じ母性・父性のあり方を考えて行きます。また、女性を産むだけの性と捉えず多様な生き方に対する理解やケアを考えて行きましょう。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	I. 母性について考える	1. 母性とは何かを感じ・考える	講義	
2	2	II. 母性看護の基盤となる概念	1. 母子関係と家族発達 2. セクシャリティ 3. リプロダクティブヘルス 4. 母性看護のあり方 5. 母性看護における倫理	講義	
3	2	III. 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷	1. 歴史的変遷 2. 対象を取り巻く環境	講義	
4	2	IV. 母性看護の対象理解	1. 女性のライフサイクルに伴う形態・機能の変化 2. 母性の発達	講義	
5	2	V. 女性のライフサイクル各期における看護	1. 女性の健康と看護の必要性 2. 各期における健康と看護	講義	

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
6	2	VI. 母性看護学の対象を 取り巻く現状と問題	1. 対象を取り巻く現状の理解 <ul style="list-style-type: none"> • 性感染症 • 生殖補助医療 • 家庭内暴力、性暴力 • 児童虐待 • 母子保健における国際化社会 2. 問題に対する看護	講義 GW	
7	2				
8	2	評価	筆記試験		